

欠測データの扱いについて:基礎から応用まで

日時: 2026 年 9 月 9 日 (水) 10:30~17:00

場所: オンライン開催(詳細は別途ご案内)

料金: 一般 5,000 円、学生 2,500 円

講師: 高橋 将宜(中央大学)

定員: 35 名 ※変更の可能性あり

■本コースの内容

本講座では、データの一部が欠測しているとき、統計学的に妥当な分析を行うことのできる多重代入法について解説する。具体的には、欠測値とは何か、欠測データの何が問題か、欠測のパターンやメカニズムとは何かといった基本的事項について解説した後、どのようなときに、どのような代入法によって欠測を処理できるのか解説する。また、多重代入法の理論的メカニズムについて、数値例を示しながら具体的に解説する。統計環境 R を用いて、実際に、欠測データを多重代入法によって処理して分析する具体的な例についても扱う。本講座では、さまざまな実証研究において欠測データ処理の世界標準となっている R パッケージ [mice](#) の [official contributor](#) である。

■次のような方におすすめです

- ・ データが完全に観測されているときには相関係数や回帰分析といった基本的な統計解析はできるものの、データが欠測しているときにはどうすればよいのか知りたい方
- ・ 欠測データの特性を理解したい方
- ・ 多重代入法のメカニズムを理解したい方
- ・ 具体的なデータの欠測値を R によって多重代入法で処理して統計解析したい方

■注意事項

- ・ どなたでも参加可能です。
- ・ ただし、SSJ データアーカイブのデータを利用した講義の場合、利用したデータを 9 月中に削除して頂く必要があります。
- ・ 大学または公的研究機関所属の研究者・学生(学部生も可)、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方は、その後、研究目的で SSJ データアーカイブより申請して頂くことで利用可能です。
- ・ 事前に、R および RStudio のインストールを済ませておいてください。

■本コースの日程

1. 欠測データの特徴
2. 単一代入法の概要
3. 多重代入法の概要
4. 多重代入法のアルゴリズム
5. 多重代入法による欠測値処理後のデータを用いた統計解析の例
6. 時間が許せば以下内容もお話します。
 - A) 多重代入モデルの診断
 - B) 感度分析:NMAR の統計解析
7. 質疑応答

*進度によって内容が若干変わることがあります